

4年松組 音楽科学習指導案

指導者 齋藤 聡

1. 題材名 様子を思いうかべて (鑑賞...教材名「魔法使いの弟子」 作曲：P・デュカス)

2. 題材の目標

- ・拍子の違いや旋律の特徴などを感じ取って、聞いたり表現したりする。
- ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに表現したり聴いたりする。

3. 題材について

子供たちは、これまで様々な音楽を聴く活動を通して、楽曲の構成を感じ取ったり音楽の表す様子を想像したりして、音楽のよさや素晴らしさを自分なりに感じ取ってきた。

本題材は、子どもが興味・関心をもてる“ファンタジック(幻想的)”な音楽を通して強弱や速度などの変化を感じ取ったり、様々な楽器の音色や響きを味わったりするとともに、物語の場面の様子を想像して、音楽を楽しむことに視点をおきたい。また、音楽を聴く際には身体表現、図形楽譜の作成などを取り入れるなどして、音楽に集中しながらも楽しみながらオーケストラの音楽に一層親しむことができるようにしたい。

鑑賞活動における子どもの直感的な反応の姿は、その活動の様子から見取ることができるが、一方では、音楽の内面に深く関わっていると、その姿がなかなか見えにくい場合もある。

このようなときには、学習カードを活用して感じ取った様子を文章化したり、身体表現と関連させたりして学習の状況进行评估することが有効であると考ええる。

本題材では、下記の視点を設定して学習の評価を行うようにしたい。

- 音楽を聴いている表情・態度などの様子
- 曲想感受による身体反応の仕方や図形楽譜の描き取り
- 学習カードの文章表現

4. 教材「魔法使いの弟子」について

ゲーテの有名なバラード「魔法使いの弟子」を題材として構成されている。

(あらすじ)魔法使いの留守中にその弟子が呪文を唱え、箒に水汲みをさせようと呪文を唱える。すると箒が水汲みを始めるが、やがて大桶が水で溢れ出す。慌てて水汲みをやめさせようと魔法を解こうとするのだが、その呪文を忘れてしまい、箒を斧で割ることに…。ようやく事態は解決したかに見えたが、割れて増えた箒が再び水を汲み始める。絶体絶命のところで魔法使いの師匠が帰ってきて魔法を解き、不思議と水がびたりと止まる。

曲の流れは、弦楽器、木管楽器による序奏を経て、スケルツォでは箒が動き始める様子をファゴットによる主題が軽妙なテンポで演奏され、物語が展開される。後に金管楽器、打楽器による激しい緊迫感あふれる響きが、水が溢れ出す様子、弟子が慌てている様子などを表現している。

この楽曲は、物語の展開の様子が音楽で表されることにより、曲想の変化を感じ取りやすい。また、強弱や速度の変化、楽器の音色や響きの重なりなどが、子どもの音楽的な感性に訴える力をもっている。

5. 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	曲想が様々なに変化する音楽に関心を持ち、意欲的に活動に取り組んだり聴いたりしている。	旋律の特徴を感じ取り、曲想の変化がもたらす楽曲表現のよさを感じ取ったり表現したりする。		様々な音楽の曲想の変化を感じ取ったり、楽器の音色や重なり合う響きを感じ取ったりして聴く。
学習活動における具体の評価規準	オーケストラの音楽に関心をもって聴こうとしている。 自分が選んだ活動に関心をもって取り組もうとしている。	主な旋律の特徴を生かして口ずさんだり、旋律を感じ取って聴いたりしている。 曲想の変化を感じ取って身体表現を試したり、音楽の流れや変化を工夫して図形楽譜に記したりしている。		曲想の変化から、場面の様子を想像したり楽器の音色や響きを感じ取ったりして聴く。

6. 指導計画（3時間）

時	主な活動	教師の働きかけ・準備	学習活動における具体的評価規準 【評価方法】
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・「魔法使いの弟子」を聴き、曲想を感じ取る。 ・感じ取ったことを自由に話し合う。 ・曲名、物語について簡単に知る。 ・再度「魔法使いの弟子」を聴く。 ・感じ取ったことを学習カードに記入する。 	<p>曲に集中して音楽が聴けるよう、聴く視点を与える。</p> <p>曲の感じ、楽器の音色、場面の様子など、感じ取ったことを話し合うようにする。</p> <p>「魔法使いの弟子」であることを伝え、物語の概略を説明する。</p> <p>音楽の流れから場面の様子などを感じ取って聴くようにする。</p>	<p>学習活動における具体的評価規準 【評価方法】</p> <p>ア 鑑賞 オーケストラの音楽に関心をもって聴こうとしている。 【観察】</p> <p>イ 鑑賞 曲想の変化から、場面の様子を想像したり楽器の音色や響きを感じ取ったりして聴く。 【観察・ワークシート】</p>
第2時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・主題を覚えて口ずさむ。 ・主な旋律が出てきたら拳手をやる。 <p>・活動内容について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>図形楽譜に記す動きを工夫する</p> </div> <p>の2つから活動を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動に分かれて音楽を聴き、曲想の変化を感じ取る。 <p>音楽に合わせて線で曲想の変化を表現する。</p> <p>音楽の変化に合わせて動きのパターンを絵や言葉、動きなどで表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの発表をする。 	<p>主な主題を範唱し、一緒に口ずさめるようにする。</p> <p>曲の始めの部分を注意深く聴くようにする。</p> <p>活動の仕方とワークシートについて説明して、自分が取り組みたい活動を選ぶようにする。</p> <p>それぞれの活動場所を決め、音楽に集中して取り組むようにする。</p> <p>何回か音楽を聴くようにして、線での表し方、動きについての工夫をするようにする。</p> <p>図形楽譜... 旋律、音の強弱について、色や線の太さ、また、楽器名の記入などを工夫して、他の子どもからも意図が分かるようにする。</p> <p>動き... 音楽の流れや物語に合わせて身体表現することができるよう助言する。</p> <p>工夫しているところなどを取り上げ、次時へつなげる。</p>	<p>イ 鑑賞 主な旋律の特徴を生かして口ずさんだり、旋律を感じ取って聴いたりしている。 【観察】</p> <p>ア 鑑賞 自分が選んだ活動に関心をもって取り組もうとしている。 【観察】</p> <p>イ 鑑賞 曲想の変化を感じ取って身体表現を試したり、音楽の流れや変化を工夫して図形楽譜に記したりしている。 【観察・ワークシート】</p>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の流れに合うように、図形楽譜や動きを工夫する。 ・音楽のよさを味わって聴く。 	<p>音楽に合った身体表現ができているか見取るようにする。</p> <p>音楽に集中して聴くようにする。</p>	<p>イ 鑑賞 曲想の変化から、場面の様子を想像したり楽器の音色や響きを感じ取ったりして聴く。 【観察・ワークシート】</p>

7. 本時の学習 (2 / 3)

(1) 本時の目標

音楽の流れを図形楽譜や身体表現で表し、曲想の変化を感じ取るようにする。

(2) 本時の展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ (: 学習活動における具体的評価規準)
<p>1. 「魔法使いの弟子」の旋律に親しむ。 主な旋律を覚えて口ずさむ。 主な旋律を感じ取る。</p> <p>2. 図形楽譜や身体表現で曲想の変化を感じ取る。</p>	<p>主な主題を教師が範唱し、一緒に口ずさめるようにする。 「魔法使いの弟子」の始めの部分を聴き、主な旋律が出てきたら挙手をするようにする。 イ 鑑賞 主な旋律の特徴を生かして口ずさんだり、旋律を感じ取って聴いたりしている。 【観察】</p>
<p>曲想の変化を図や動きで表そう</p>	
<p>音楽を聴いて 図形楽譜に記す、 動きを工夫する、の 2 つの活動から、自分が取り組みたい活動を選ぶ。 それぞれの活動に分かれて音楽を聴く。</p> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>図形楽譜 音楽に合わせて線や色などを工夫して曲想の変化を表現する。 動き 音楽の変化に合わせて動きのパターンを絵や言葉で表したり、身体表現を工夫したりする。</p> </div>	<p>曲想の変化を感じ取るため、2 つの活動で行うことを伝える。その際、ワークシートの活用の仕方や活動の仕方を説明して、自分が取り組みたい活動を選ぶようにする。</p> <p>それぞれの活動場所を決め、音楽に集中して取り組めるようにする。また、動きを選択した場合、友達と工夫してもよいことを伝える。 ア 鑑賞 自分が選んだ活動に関心をもって取り組もうとしている。 【観察】</p> <p>【例】 図形楽譜の工夫 強い部分は線を激しくしたり太くしたりする、静かな部分は線が緩やかになるようにする、また、色を分けて曲想の変化が分かりやすいように支援する。 動きの工夫 音楽に合わせて動けるようにワークシートに記したり動きを試したりする。物語の流れを生かして表現する子どもへは、音楽の流れに動きが合うよう支援する。 イ 鑑賞 曲想の変化を感じ取って身体表現を試したり、音楽の流れや変化を工夫して図形楽譜に記したりしている。 【観察・ワークシート】</p>
<p>3. 図形楽譜を見直したり、身体表現の確認をしたりする。</p> <p>4. 本時のまとめをする。</p>	<p>2 回音楽を通して聴いたところで活動の確認をする。よく分からない子どもへは、描き方・身体表現の仕方を工夫できるよう支援する。</p> <p>図形楽譜を描いた様子、身体表現を工夫した様子をいくつか紹介して、次時につなげるようにする。</p>

3) 本時の抽出児

T. S 児... 取り組みにムラがあるが、クラスの雰囲気をつくり出すキャラクターなので、この児童の感受を全体に生かしていきたい。